

白石 隆夫氏 (67)

議長



「市民の目線で市民とともに」をモットーに活動を続け4期目。「多くの方の協力をいただき、議会運営は順調」という。

30年前の交通事故で、脊髄を損傷して半年間入院。「生きていられるだけでもうけもの」と思い、さますまな

市民目線で議会運営

取り組みに挑戦してきた。特に力を入れてきたのが、子どもの読書活動の推進。一般質問では学校図書館の職員の位置付けを改善するよう訴え、実現にこぎ付けた。

東京都立大大学院修士課程修了で電気工学を専攻。家業の建築業を継ぐ前は、大手機械メーカーでオーストラリアの鉱山での重機の試験や、自動車部品の開発などに当たった。趣味は飛行機の観察で、愛読書は立花隆著「宇宙からの帰還」。

(真尾敦)

高崎市 議長・副議長の横顔

片貝 喜一郎氏 (63)

副議長



「市街地と旧郡部の間を調整し、合併後の新しい高崎市の一体感を育みたい」と議会運営の意気込みを見せる。

旧郡部と一体感育む

う求められ市議となり、現在3期目。再開発など都市部ならではの課題の発信や解決に尽力してきた。

高崎まつりや市制100周年の各種行事に携わり、自他共に認める「大のイベント好き」。「下準備と後片付けに走り回るのが醍醐味」と笑う。「高崎を心の古里に」と、思い出に残る催しの実現に取り組んできた。

趣味はガスバクサツ群馬や群馬ダイヤモンドペガサス、武道などのスポーツ観戦。

(真尾敦)

市中心部で菓子やパンを包む紙袋を店舗向けに販売する商店を営む。周囲から市街地の声を市に届けるよ